

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌患者に対する EGFR-TKI 治療後 ABCP 療法の検討
	研究対象者	2019 年 8 月から 2025 年 12 月までに当院で診療を受けた EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌患者のうち、EGFR-TKI 治療後にカルボプラチン＋パクリタキセル＋ベバシズマブ＋アテゾリズマブ（ABCP）療法を導入した患者を研究対象とする。
	研究目的	肺がんの一部には、EGFR という遺伝子の変化をもつタイプがあり、このような肺がんでは EGFR-TKI と呼ばれる治療薬が広く使われています。しかし、治療を続けるうちに薬が効きにくくなることもあり、その後どのような治療を行うのがよいかについては、まだ十分に分かっていません。本研究では、EGFR-TKI による治療後に、複数の抗がん薬を組み合わせた ABCP 療法を受けた患者さんの診療情報を振り返って調べ、この治療がどの程度有効であったか、また、どのような患者さんでより効果が得られやすい可能性があるかを明らかにすることを目的としています。
	研究方法	本研究では、2019 年 8 月から 2025 年 12 月までに当院で EGFR-TKI による治療後に ABCP 療法を受けた患者さんを対象とします。研究に必要な情報は、通常の診療の中でこれまでに記録された電子カルテや検査結果などから取得します。具体的には、年齢、性別、肺がんの種類や遺伝子変異、病気の広がり、これまでに受けた治療内容、治療効果、血液検査や画像検査の結果、治療後の経過などの情報を収集します。これらの情報を用いて、ABCP 療法がどの程度有効であったかを評価するとともに、治療効果が長く続いた患者さんにどのような特徴がみられたかを検討します。本研究では、すでに診療のために得られている情報のみを使用し、研究のために新たな検査や治療、検体採取を行うことはありません。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 6 年 9 月 2 4 日 ～ 西 暦 2 0 2 8 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載:____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載:____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[X]ゲノムデータ、[X]看護記録、[]その他(具体的に記載:____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター	所属・氏名
	研究責任者	呼吸器内科 村上修司
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・呼吸器内科・田川雄斗・045-520-2222 利用停止のお申し出は 2027 年 2 月 28 日までお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	